

Zホールディングス株式会社が発行する「グリーンボンド」への投資について

JA 宮崎中央（代表理事組合長 栗原 俊朗）は、このたび、Zホールディングス株式会社（以下「同社」という）が発行するグリーンボンドに投資しました。

本グリーンボンドは、同社グループの環境基本方針である、「情報技術の活用により、未来世代に向けた地球環境保全への取り組みを継続的に実践する」を基に、同社が策定した「グリーンボンド・フレームワーク」に基づき発行されたもので、エネルギー効率の高いデータセンターの建設や改修などへの投資等に用途を限定した債券で、同社ではこの取り組みが SDGs（※）の達成にも寄与するものと考えています。

本グリーンボンドへの投資が、環境改善のために活用され、地域農業・経済のさらなる発展に繋がっていくことを期待しています。

●債券の概要

銘柄名	Zホールディングス株式会社第20回社債（グリーンボンド）
発行日	令和3年7月28日
発行総額	200億円
当JA購入額	1億円
期間	7年

※持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる加盟国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと。